



競争力のある産業の創出・振興を支援

鹿児島県商工労働水産部
部長 田崎 寛二

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました田崎です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

現在、我が国経済は、緩やかに回復しており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種施策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。また、県内経済については、有効求人倍率が高水準で推移し、緩やかに回復しているところでありますが、一方で、企業の人手不足感も顕著になってきている状況でもあります。

このような状況のもと、県としましては、この景気回復の動きが確実なものとなり、地域経済の活性化と雇用の安定・確保が図られるよう、平成30年3月に策定した「かごしま未来創造ビジョン」に基づき、各般の施策の充実に努めることとしております。

具体的には、IoTやAIなどを活用した生産工程の効率化、省エネルギー化などを推進し、中小企業等の生産性向上や競争力強化を図ることとしております。また、産学官連携による技術・製品の研究開発を通じた既存産業の高度化・高付加価値化や新産業の創出を図るとともに、中小企業等の新分野への進出や規模拡大、独自技術などを活用した新産業の創出等の取組を支援します。さらに、本県産業振興の重点業種である食品関連産業における付加価値向上や人材の確保・育成等の取組を一層推進するとともに、シラスなど地域資源を活用した産業の振興を図ることとしております。

このような中、工業技術センターは、県内企業の「技術の拠りどころ」として、本県産業の技術

ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術指導・相談、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。

研究開発は、地域資源の高度利用、生産・加工システム、バイオ・食品、環境・生活・デザイン等の4分野において、「シラスの全量JIS化による産業創生」、「タブレット状素材を用いた板鍛造技術の高度化」など14テーマを実施するほか、新技術の開発をめざす技術創出研究として「絹製品へのCNFの利用に関する研究」など6テーマ、企業ニーズに対応した技術高度化研究として「機械学習を用いた画像判別に関する研究」など3テーマを実施しております。ほかにも、九州の産業の技術レベルを高め、地域発展を目指す九州・山口各県工業系公設試連携促進事業や国等の提案公募型事業により、実用化、産業化を目指した産学官共同研究、企業等からの要望に応えるための受託研究等にも取り組んでおります。

技術支援では、相談・指導が約7,400件、依頼試験・分析が約2,000件、設備使用は約2,600時間行っており、県内企業等の問い合わせ等に対応しているほか、企業の技術者や研究者等で構成する各種研究会の運営、企業の技術者等を申請により受け入れる技術指導、大学等からの申請による学生指導を実施するなど、人材育成にも努めています。

皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて、工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと思います。

終わりに、皆様の益々の御発展と御健勝・御活躍を心よりお祈りいたします。